



114
A10:0



謹白

凡ソ事ヲ企ルニ當ツテハ近キヨリシテ遠
 キニ及ボスヤモノ是レ自然ノ順序ナリ
 物産ヲ興シ以テ國ノ富ヲ謀ルモ亦然リ宜
 シク先ツ其近キヨリシテ遠キニ及ボスヤ
 シ次郎今般東京生糸商會設立ノヲヲ發起ス
 ルノ趣旨ハ蓋此理ニ由テ以テ生ス抑モ本
 邦ハ固有ノ物産多シ就中生糸ハ名産ナリ
 而シテ輸出モ亦諸品ニ冠タリ然ルニ其營
 業上ノ實際ヲ熟視スレバ製糸地方ニ於テ
 ハ資本金乏シク且ツ貸金方等ニ種々ノ弊
 習アリテ已ムトヲ得ズ業ヲ廢スル者モ無
 キニ非ス又高賣等ハ為換金ノ運轉少ナキ

大正十一年四月
隈侯爵邸寄附

ヨリ充分ノ業ヲ營ムト能ハズ將タ輸出ノ
際ニ當ツテハ外高等ノ壓制ヲ被リ理外人
敗ヲ取ルト多シ然レモ本邦ノ物産中
一千萬圓内外ノ價ヲ有シテ輸出スルモノ
ハ生糸ナリ能ク方法ヲ設ケテ製糸ノ繁殖
ヲ謀リ其商業ノ盛大ヲ極メンニハ乃チ是
レ内ニ物産ヲ興シ以テ國ノ富ヲ謀ルノ點
ニ於テ其結果ヲ得ルノ最モ近キモノタル
ヲ信ス故ニ一大商會ヲ興シ以テ生糸營業
ノ隆昌ヲ圖ラントス此業大イニ起レバ我
ガ輸出物産ノ數ハ外國ヨリ輸入スル物品
ノ數ニ著シク超過スベキニ由リ金融モ自
ラ開ケ來テ其效能ハ能ク遠キニ及ヒ遂ニ

他ノ諸産業モ年々歲々増殖スルニ至ルベ
シ
外國直輸出ノ商業ハ益盛大ナラザルベカ
ラズト雖モ我ガ物産ノ需要スル者海外ヨ
リ陸續渡來スルニ至レバ坐シテ之ヲ待ツ
ノ愈レリトスルニ如カサルベシ然ルニ諸地
方ノ生糸ヲ商會ニ買込ミ置キ時宜ヲ計リ
テ之ヲ賣捌キ又ハ輸出スルノ方法ヲ施行
セシニ愈々遺策ナク且ツ製糸モ一齊ニ改
良スベシト雖モ此業ハ論シ得ベク
シ得ガタキヲタレバ我ガ商會ニ於テハ株
主中ニテ問屋ヲ定メ置キ商會本支店ノ間
ニ於テ検査ヲ經タル上賣買ヲナサシムベ

キノ方法ヲ施行セントス而シテ其檢印アル生糸ハ不正ノ物アルヲ無シト云ノ信ヲ表明セシトテ期ス然ルキハ生糸ヲ購ハシト欲スル内外國人等必ス信ヲ我ガ檢印ニ置クニ違ラシト遠キニ非ルヤシ
製糸ノ改良ヲ謀リ其商業ヲ確實ニスルハ今般ノ舉ニ於テ主義トスル所ナリ熟按スルニ製糸ノ粗惡ニ流ルハ諸地方ノ製糸人等精良品ヲ製出セント欲スルアルモ買人ハ品位相當ノ代價ヲ以テ買取ル者尠ク又資金乏シクシテ之ヲ支ルノ力ナキニ由ル將ク我カ高權ヲ失スルノ理由ハ畢竟利益ヲ一場ノ僥倖ニ占メント欲スル高賈等

廉價ノ物ヲ高價ニ賣入レントシテ詐偽ヲ巧ミニスルヨリ偶誠實ナル賣込人アルモ外高等ハ一概ニ疑心ヲ懷キ我ヲ蔑視スルニ至ルノ致ス所ナリ然ルニ商會ニ於テ生糸抵當貸付及ビ賣捌引請内金貸付ノ二條ヲ施行セシニハ製糸人等ハ奸高等ノ為メニ欺カルハ患ナキガ故ニ製糸ハ自ラ改良シ將タ問屋等ハ時宜ヲ計ツテ賣込ニ又ハ直輸出ヲ行フニ由リ夫ノ壓制ノ如キハ自ラ無効ニ屬シ而シテ相當ノ高權ヲ我ニ歸スルニ至ルヲ固ヨリ論ヲ待タサルナリ
凡ソ供給者ト需用者トノ權利ノ比較シテ按スルニ供給者ノ權利ハ何トナク需要者

ノ上ニアルテキ理ナリ貨幣ニ於テモ亦然
リ供給者ノ位置ニ在ルモノ、權利ハ自
需要者ノ上ニ在ルベシ茲ニ現今各港ノ居
留地ニ行ハル、洋銀ノ權利如何ヲ考ス
ルニ外國人ニ對スル商業ニ於テハ賣ルニ
モ買フニモ洋銀ヲ以テス故ニ洋銀ハ我ガ
貿易者ノ為メニ常ニ供給者ノ位置ヲ占有
シ且ツ其權柄ノ増張スルヨリ本邦ノ物價
モ之ガ為メニ變動ヲ生スルアルガ如シ而
シテ本邦ノ通貨ハ之ニ使役サル、ノ位置
ニ立ツモノト云モ理ナキニ非ルナリ豈ニ
遺憾ナラズヤ
夫レ我國人ニ限ラズ何國人ノ別ナク外國

ニ於テ物貨ヲ購フニハ必ズ其國ノ通貨ヲ
以テ取引ヲ為サザルヲ得ズ故ニ外國ト通
高スルニハ其國ノ通貨ヲ受取ルベキ為換
ヲ取組ムモノナレバ外國人ヨリ本邦ノ物
品ヲ購ハハ本邦ノ通貨ヲ用ヒ又ハ本邦
ノ通貨ヲ受取ルベキ為換ヲ取組ミテ通商
スルコソ至當ト云ベシ然ルニ此一大變革
ヲ行ハントスルニハ重大ナル物産ノ商業
ヲ以テ我ヲ施行スルニ非レバ得テ果シ難
カルベシ於是我ガ商會ニ於ケル賣買ハ内
外國人共本邦ノ通貨ヲ以テスルノ法ヲ施
行セシニハ生糸ハ年々輸出ノ價額大約一
千萬圓ニ至リテ且ツ歐米諸國ノ必ク需要ス

ル至重至大ノ物産ナレハ外高等先ツ我ガ
通貨ヲ買ヒ以テ通商スヤキニ由リ本邦ノ
通貨ハ堂々タル供約者ノ位置ヲ占メ而シ
テ其權利モ徒ニ内國人ノ使用ノミ止ル
ヨリハ重キモノト為ルニ至ラントテ信ズ
ルナリ

實ニ我ガ生糸ノ商業ヨリシテ現今ノ流弊
ヲ一變シ通貨ノ權利ヲモ振興センニハ他
ノ商業モ亦之ニ倣ヒ内地ノ取引ハ悉皆本
邦ノ通貨ヲ以テスルニ至ラント必セリ然
則外高等本邦ノ物品ヲ購ヒ又ハ注文等ヲ
為スニ當ツテハ必ス本邦ノ通貨ヲ受取ル
ハキ為換ヲ取組ムニ至ルヤキニ由リ現在

資カモ巨大ニシテ且ツ既ニ支店ヲ外國ニ
設置シタル横濱正金銀行ノ如キハ該供給
者タルノ位置ヲ占有シタル我ガ通貨ノ為
換營業ヲ以テ益繁榮ヲ極メ而シテ東洋貿
易ノ中間往來ニテ常ニ供給者ノ權利ヲ
掠奪スル洋銀ノ如キハ遂ニ無權不通ノモ
ノタルニ至ルヤレ
然ルニ我ガ生糸高賣ハ外高ノ壓制ニ應ヒ
ス又本邦ノ通貨ニ非レバ取引ヲ為リ
ニ至レバ外高等ハ忽チ計畧ヲ施シ時其
買入レテ拒絶スルニ必セリ是十六至困ノ
秋ナリ此時ニ當リ我ガ商會ニ充分ノ資力
アリテ生糸抵當ノ資金ヲ貸シ以テ此困難

ノ凌ガシメニハ外國ニ於ケル生糸市場
ニ於テ其響ナキヲ得サルベシ故ニ永クシ
テ一箇年間外商ハノ賣込ヲ中止スルモノ
ト見做ス片ハ彼ヨリ相當ノ價ヲ以テ需要
シ来ルヲ至ラシメテ期シテ待ツベキナリ
賣込中止ノ間ニ於ケル營業ハ内國用ノ生
糸取扱ヒ及ビ荷為換並ニ諸貸付等ニ止マ
ルベシト雖モ外國ノ景況ニ隨ヒカノテ直
輸出ヲ為シ又ハ生糸營業ニ熟達ナル者ヲ
撰テ外國ニ派遣シ實地ノ商況及ビ製糸ノ
状態等ヲ目撃ナサシメシニハ能ク彼ノ事
情ニモ通ズルノ得テ将来我ガ商業ニ遺
策ナキト基ヲ開キ且ツ製糸モ自然ニ進歩

ヲ極メ而シテ夫ノ壓制ヲ恣ニスル外商等
ノ術中ニ陷ルト無キニ至リ内地ニ於テ賣
捌クモ製糸ノ注文ヲ受ルモ又直輸出ヲ為
スニ於テモ薄氷ヲ蹈クノ患ナク真成ニ有
益ナル貿易ノ商業ヲ施行スルノ得ベシ
次郎此件ヲ企ル以來日月ノ過ルニ隨ヒ同志
人中ニテ或ハ倦ミ又ハ開業ヲ速カニシテ僥
倖ヲ万一ニ領ヌントセシモ無キニ非ズ其
他種々困難モ多カリシカモ一大事業ヲ興
立セントスルニ當リ固ヨリ免カレザルカ
サルトタレハ恬トシテ顧ルト無ク益々勉
カレテ志旨ヲ諸地方ニ説キ以テ同盟ヲ密
メタリ蓋此業ハ能ク生糸營業者ノ志向ニ

適スルノ上ナラデハ卒爾ニ之ヲ開業スル
モ徒ニ有名無實ノ一起業タルヲ免カレリ
レバナリ然ルニ今ヤ趣旨能ク地方ニ通徹
シ真成ニ開業ヲ促シ来ルニ至リ且夫ノ
或ハ倦ミ又ハ徒ニ開業ヲ速カニシテ徒
ヲ圖ラントヒレ者等モ此業ハ得意先ノ同
盟スルヲ得テ始テ實際有利ノ商業ヲ營ミ
得ベキモノタルヲ知り再ヒ奮發心ヲ起ス
ニ至レリ古ニ此機ニ乘シテ會議ヲ開キ諸
規則及ビ役員並ニ開業日等ヲ議定セント
ス
右ノ如ク此機ニ乘シテ會議ヲ開キ以テ開
業ヲ為サシニハ第一ニ上州ニ於ケル名望

家及ビ豪高等ハ大概同意者ニアラサル無
シ又野州奥州及ビ甲州信州等ニ於テモ巨
豪ノ間ハアル同盟家多キ故ニ有名ナル
生糸地方ハ大概我カ商會ニ關係シテ營業
ヲ為スニ一ルベシ實ニ如此先ツ諸地方ニ
於ケル生糸營業者ト結合シテ而後開業ス
ルモノナレハ得意先ノ廣キヨリシテ盛大
ノ業ヲ營ムトノ得ルハ固ヨリ論無カルベ
シ又株金募集ニ於テハ諸地方ノ繁榮ヲ謀
ルガ為メニ募ル所ニシテ且ツ各地方共名
望アル者等主トシテ賛成スルヲタレハ必
ズ金額ヲ集ムルヲ得シ之ニ如ルニ府下
ニ於テ加入スベキ有志人モ多キニ由リ充

分ノ巨額ヲ募集スルヲ得ベシ而シテ此
資本金ハ生糸營業ニ關スルノ外ハ決シ
テ使用スベカラサルモノト定メ創業入費
其他諸經費ノ如キハ別ニ負債ヲ為シ利息
金ノ内ヲ以テ之ヲ償却スベキモノト定メ
ントス

商會ノ事務ヲ擔當スル役員ハ最モ能ク其
人ヲ撰ハサルベカラサルナリ次郎ノ鄙見ニ
於テハ別ト定欵ニ記載スル如ク六名以上
ノ取締役ヲ撰舉シ其内ニ頭取一名ヲ撰
定シ以テ商會ノ全局ヲ總理セシメ又一名
ヲ監察部長トシ將タ一名ヲ營業部長ト為
シテ各其部務ヲ負擔スルノ責ニ任ジ其他

ノ取締役ハ營業上ノ全体ニ注意シ每週一
回又ハ臨時集會ヲ為シテ事ヲ頭取及ビ兩
部長ニ謀ルベキモノト定メ而シテ本支店
ニ於ケル萬般ノ事ヲ整理スベシ將タ支店
ハ其營業ノ繁閑ニ準ジテ一等二等ヲ分テ
該支店及ビ出張所ニ於テ執行シタル事柄
ハ日々本店ニ郵報スベキノ方法ニ施行セ
ントス

右ハ今般諸地方同志人等ノ望ニ由リ近日
會議ヲ開カントス其議案トシテ定欵並
營業家務兩部申合規則ヲ編纂セリ故ニ其
草案即ニ別冊ヲ奉呈シ併セテ他衷ヲ摺白
ス伏テ願フハ恩覽ヲ賜ハンコラ次郎恐々百拜

東京生糸商會發起人

明治十四年二月

日高次郎

郎



大隈公閣下

